

## えびな支援学校整備事業 認証評価書の内容

### 1 事業の概要

事業の名称	えびな支援学校整備事業
事業の実施者	神奈川県
事業の実施区域	海老名市中新田4-5-1
事業の規模	延べ床面積：10,394.79㎡

### 2 環境共生の取組の評価結果

代表指標	取組の評価結果
緑化率	24.6%
エネルギー削減率	BEI 0.63
CO <sub>2</sub> 削減率	17.0%

個別指標	取組項目数	目標項目数
目標1	5	4
目標2	9	8
目標3	3	2
目標4	5	3

### 3 環境共生の取組の継続・維持管理方針

本認証評価書に掲げる環境共生の取組については、「県央・湘南都市圏環境共生モデル都市づくり推進要綱」の趣旨を踏まえ、適正に継続・維持管理が図られるよう努めるものとする。

また、本事業により整備する施設等を譲渡などにより第三者へ承継する場合、承継する者に対し、本認証評価書に基づく環境共生の取組を可能な限り継続していくよう通知するとともに、速やかに県に対して申し出るものとする。

#### 4 環境共生の取組の実施内容

##### 【目標 1】自然が有する機能・魅力を生かした都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
土地	大幅な土地形状の変更を抑制する	・既存の土地形状を生かし、大幅な土地形状の変更は行わない。
みどり	地域・地区の特性、生態系に配慮した緑地を整備する	・シラカシ、スダジイを植樹し、地域の生態系に配慮した緑地を整備する。
	道路との敷地境界に生垣や緑地緩衝帯などを整備する	・敷地境界に、緑地緩衝帯となる高木・中木・低木を組み合わせた立体的な緑地を整備する。
	シンボリックな大径木を保全する	・生育状態の良い既存のイチョウを保存する。
	緑とふれあえる場を整備する	・グラウンドは芝生とすることで、利用者が緑とふれあえる場を提供する。

##### 【目標 2】環境への負荷を低減する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
水	雨水の地下浸透能力を強化する	・敷地各所に設置した雨水浸透槽により、雨水の地下浸透能力を高める。
	上水道の節水設備を導入する	・自動水栓、節水型便器の導入により、水の省資源化を図る。
エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制にかかる措置を講じる	・外壁の断熱材は吹き付け工法とするほか、庇により日射を遮蔽することで熱負荷の抑制を図る。
	通風、熱、日光などの自然エネルギーをパッシブ利用する	・敷地各所に設けた中庭により自然換気と自然採光を促進し、熱負荷、照明負荷の低減を図る。
	省エネ型の照明、空調換気、給湯設備及び動力設備を導入する	・LED照明を採用するとともに、人感センサーにより照明制御を行うことで、エネルギー使用量の抑制を図る。
資源循環	耐久性や更新性の向上など、建築物の長寿命化にかかる措置を講じる	・躯体と設備、仕上げ材を容易に分別可能な計画とし、将来の更新・解体に配慮する。
	設備の維持管理対策・更新性等の措置を講じる	・EPSの採用などにより、構造部材を傷めることなく電気配線や通信配線の更新修繕を可能とする。
	建築物、外構等にリサイクル材を使用する	・再生骨材の路盤材を捨てコンクリートや外構の土間の下に使用する。
	ごみ分別収集システムを導入する	・敷地北側にごみ集積所を設け、ごみの分別収集を行う。

##### 【目標 3】環境とのバランスのとれた交通計画による都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
交通	施設の整備規模に応じた駐・停車、駐輪スペースを確保する	・利用者のための適切な広さの駐車、駐輪スペースを確保するとともに、管理用車両や荷捌き用車両の駐車スペースを整備する。
	車・自転車のシェアシステムや、低公害車を導入する	・利用者のための送迎バスを運行し、地域の交通に配慮する。
	公共交通への近接性を確保する	・事業実施箇所は路線バスの停留所から徒歩1分の場所に位置している。

【目標4】 地域アメニティを創出する都市づくり

分野	実施項目（個別指標）	実施内容
地域アメニティ	地域景観に配慮し、電線の地中化や建築物等の高さ、形状、色等の工夫をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物をセットバックし圧迫感を低減するとともに、隣地への日照の確保を行う。</li> </ul>
	災害時に利用出来るような施設を適切に配置する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時は地域住民が利用できる避難所として整備する。</li> </ul>
	利用者が安心して過ごせるよう、地域の防災・防犯対策に係る取組を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対策として備蓄倉庫、非常用発電機を設置する。</li> </ul>
	高齢者、障害者等に配慮した建築物、歩行空間等を整備する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スロープや手すり、障害者用トイレなど、特別支援学校に必要なバリアフリーの対策を随所に施している。</li> </ul>
	利用者が健康・快適に過ごせる環境づくりに係る取組を実施する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中庭から自然換気、自然採光を行い、利用者が健康・快適に過ごせる空間を提供する。</li> </ul>